京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所 京城新報社

雜錄

内外應酬

一記者

商業會議所議員撰擧に就て

一昨日の紙上に報道せし如く、京城商業會議所議員半數改撰の期が接近したので選擧運動が始まつたと聞く、吾輩の知れる處では、商業會議所議員の選擧競爭は民會議員のそれに比して毎々頗ぶる穩かである、其の穩かなのは誠に結構なることながら、之れを一面より見れば、京城の商業者は從來の如く居留民に重きを置かれず、隨て其の候補者も其位置を得やうとする希望が薄いからである樣に思はれる、斯くて商業會議所の議員は居留地の元老として一席を充たすべく餘儀無くされる者の外は、先づ誰れでも宜しいとやらの結果を見したのであつた、之れを理由とするのは或は少しく酷かも知れぬが、京城商業會議所の働き振りは從來餘り目醒しいものでは無かつた、彼の仁川の日本人商業會議所などの活動に比して常に遜色あるもの〻如く傍觀には爾う思はしめた、然るに來るべき撰擧には居留地第一流の實業家にして曾て此の職に一顧だも與へなかつた人達が轡を駢べて打つて出る準備中であると傳へらる〻、是は取りも直さず商業會議所なるものを重要視するに至りたる徵象と見るべきであつて、軈て又同會議所が大活動を起すの兆とも首肯されるので、吾輩は太だ欣ばしく存ずるのである、實際統計表を調製したり又は官公署に對する仲介機關の如くに買人より見做されることを以て會議所の能事を盡せりとすることは出來ない以上、韓國中最大なる貨物の集散地たる此の首都に於ける商權の把握者たる日本人の商業會議所に對する世人の期待を無視せざる限り、其の之れに議員たるものは十分の努力を致すの覺悟を以て其職に就くを要し、一方選擧人は其職に相應しき物を選擧するを要する、輿論如何に激烈なる選擧運動起らうとも苟も不正なる手段の講せられざること條件として吾輩は寧ろ之れを欣ぶのである、其は前述の如く、商業會議所が重要視さる〻に至り、此國に於ける産業の開發を促進すべく努力さる〻の大前提であることを信ずるからである

螢は何故光る（下）

無數無類の理想的光輝を放つ 螢の研究

螢は自身が自然主義の實行者であるのみでなく、人間のラブの斡旋までして居る實例がある、詩人サウゼーの詩曲「マドック」の中に、妙齡の少女が螢の光を以て暗黑なる洞窟中に情人の案内を爲したと云ふ事が謠つてある、源氏物語には、螢を澤山集め、其光を以て暗夜婦人の顏を照らしたと云ふ事がある、其他伊勢物語、宇津保等平安朝時代の文學にも似寄の事が數々現はれて居る、思へば風流な小動物であるわい

螢の光る目的の第二は威嚇的の作用である、螢は外敵から襲はれたり、又は異常の刺戟を受くる時に忽ち興奮して盛に光りを發つ、螢が寢て居る時、螢擒が箒で草の中を掻廻すと又盛に光る、斯樣に摑まれると腹の中で光る、斯樣に激發的にピカ〱やられては大抵な小動物は吃驚して襲擊の念を中止する、之は單に螢に限らず、發光動物は凡て斯樣だ、然るに人間は螢が光れば光る程喜んで捕つて了ふから、螢も定めし閉口して居るだらう。

第三の警戒用、之は螢は他動物に對して自分は食用には不適と云ふ事を廣告するのである、螢は嘗めて見ると苦い且つ一種の臭氣を帶びて居る、食用として誠に不適當た、現に鷄の如きは隨分何でも喰ふものであるが、螢のみは顧りみない、斯樣な次第であるから螢は食用に不適當なる事を自身に吹聽して、他動物が誤つて再び之を襲ふ事のない樣に、幾度も無駄な食用試驗に上ぼらないやうに、出來る丈鮮明なる光りを發して之れを發表し、他の動物を警戒するのである。

乃で[illegible]光りを發する樣子を見ると決して一樣でない、種々な出し方がある、樹に留つて居る時と、飛び廻る時と、刺戟に對して興奮的に光を連發する時と、大勢寄つて一齊に發光する時と、深夜時に友を呼ぶ時体を動かして光りを長く維持しつ〻飛廻はる時と、各々光りの具合が違ふ、何れも特殊の意味があるらしく考へられる、螢の社會では必ず互に其の光りの出し方に依つて、相互の意向を知り分ける事が出來るのであらう。

螢の光る目的は、大体右の說明でれ解りになつたらう（完）

日本銘刀傳

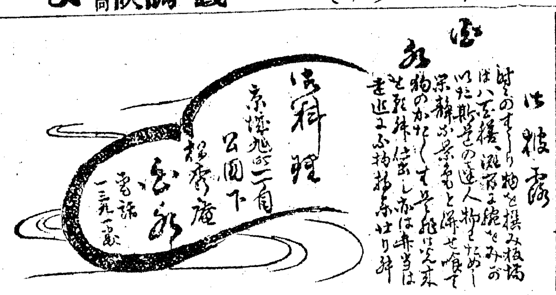
第百卅五席 邑井一講演

津田近江之守（卅九）

サア助廣はれそうの襟髮を捉つて押へは致しましたけれども、爾う言はれて見れば、詮方がないから　助「コレれそうさん泣くには及ばない、私に今存分にしろと言つたが、婦奴の事だから今更鄕も叩かれもしない、コレれそうさん、與實にれようさんが私の事を虫が好かない、と迄言ひましたか、それならば如何も詮方がない、私も男だ斷念めますが、れさうさんヒョンナ間違かられ前さんと、一晩でも……、今更私も拋擲て往く譯にもいかないし、私が年月戀ひ慕ひしれようさんと、れ前さんとは姉妹とは云ひながら寸分違はぬ其の緻標マア御酒つけて呉れ、斯んな馬鹿な事を言ふには、一杯飲んででなければ言はれない、昨夜の事もあるから爾來れ前さんを、れようさんだと思つて世話をしませう、チーれさうさん、れ前さんも私のやうな者でも忌嫌だと思へば、昨夜一緒に……、如何だれさうさん　さ「ハイ……勿体ない、忌嫌のなんのと云ふ事はございません、妾のやうな者でもれ間に合ふ事なれば、妾は嬉しふございます、妾は如何なに身を落して働いても、貴郞の御恩を復やうすに致します　助「ナニ働かなくつても宜い、元來婦人を世話するなんと云ふのは、相談相手にするの營業の助にするのさ云ふもんじやない、娛樂にするのだから、れ前さんが一寸れ化粧でもして、綺麗になつて私のマア酒の相手でもして呉れればそれで宜い　さ「ハイ……　助「れ前の姉妹ではあるがれようさんに一ッ顏當にれ前さんを立派に世話して見せるが、如何ですれさうさん、姉妹の人情として出來ない子　さ「ハイ有難ふございます……妾は元來妹が彼ア云ふ頑固な奴ですから、夫程相談相手にも致しませぬし、碌に何も構ひませんが、妾のやうな者でも……マア旦那御酒頂戴致します　助「サア〱私も飲むかられ前も澤山た飲み　さ「妾ア嬉しうございます　助「私も嬉しい……、爾んなら今私が金子を五十圓れ前へ渡すから、是金がマアれ前の頭髮の物から衣服から、成るたけ立派に準備するが宜い、又後日で金子は何んぼでも送る、何しろ此家は貸長屋で不可から何處か廣い所を……爾う〱私が昨日友達に聞いたが、好い綺麗な家の賣物があるから、其家を直ぐ私が買つて遣るから、其家へ引越して下婢の一人も置いて、一ッ立派に遣りなさい　さ「ハイ旦那此御恩は決して忘れは致しませんマア惡い事をした奴とれ惜しみなく、妾のやうな者でも何卒可愛がつて下さいませと、小さな聲で手を握りましたが、如何も男女の緣と云ふものは、不思議なものでございます、總て人と云ふものは、是者が好いと思ひ込みますと、何んでも好く見ねますもので、殊に婦人は化物のやうな……併し總体化物と申すは恐入りますが、先づ醜婦でもた化粧をして、衣服でも美しい物を着飾つて居れば、美く見ねまするもの、如何な美い女でございましても、穢い縫樸した衣服を着て顏も頭髮も穢しッ放しで味噌漉なんぞを提げて歩行きまするると、見られたものではございませぬ、それでございますから化粧は婦人の嗜慎とか申す位でございます、却說れさうは結構な家を宛はれましたから、引越しまして、下婢を置くのは旦那に對して濟まぬと云ふ考から近所の老婆さんを賴んで、臺所や家の掃除などを致させまして、表向きは儉約をして居るやうですけれども、內實は隨分贅澤の生計をして居ります、先づ衣服は絹ぐるみか何かで、髮を結ふにも一日後れると、恐圖〱言ふと云ふ程、浴湯は場合に依つたら朝晩這入ると云ふ位



廣告







東京電報

▲**詠進者へ恩賜** 皇后陛下には地久節祝歌詠進者山縣元帥渡邊宮相田中光顯伯高崎御歌所長以下親勅任官同宮中女官に對し本日白絹並に袴地を下賜相成りたり(九日)

▲**勸銀增資問題** 日本勸業銀行は營業範圍を擴張して一般不動產貸付を行ふべく內議あり早晩事實として現はるべし之に就き資本充實の事は債券發行額增加と增資との二說あるが結局資本金現在一千萬圓を二千万圓とし債券發行額を二億圓に增額することゝなるべく大藏省も同意を表することゝなるべし(同上)

▲**韓國教育問題** 今後日韓同化の上に最も必要を感ずるは其教育及宗教の普及なり目下韓留學生は支那の夫と同一にて我國の社會と接近して同待遇を受くる能はざる恐あるを以て東京に朝鮮人の師範學校を設立し之に我國同樣の教育を與へ日韓兩國教育の統一を爲さんとの內議あり目下當路に於て講究なるを以て統監府と交渉の上名分設立の運に至るべし(同上)

▲**東京株式配當率** 東京株式取引所にては來る廿三日定期總會を開き一割八分の配當率を附議する筈

▲**總領事の發表期** 外務省の總領事人選は目下協議中なるが其發表は赤塚通商局第一課長歸朝の後なるべしと(同上)

▲**抗州の賠償問題** 在抗州本邦商人の損害賠償額は七日淸國官憲との間に授受を了りたるが總額一万兩我一萬五千圓なり(同上)

▲**佛政府の招待** 佛國政府より我が帝國議會議員十二名招待あり上下兩院にては目下人選中なり(十日)

▲**兩艦隊の來訪** 目下支那沿海游弋中なる佛國極東艦隊旗艦モンカルン號はカントリ司令官座乘して本日下旬頃又墺國軍艦カアサルンエリサベス號は十八日何れも橫濱へ入港の豫定なり(同上)

▲**世界一週船來訪** 葡萄牙國世界一週船の一なるダプリヤ號は來る十四日桑港より橫濱に入港す可(同)

歐州電報

▲**殖民大臣掛冠** 獨逸殖民大臣デルンブルヒは辭表を提出したり氏は退隱後淸國及日本視察の途に上る豫定なり(十日)

▲**土政府の放逐** 土耳古政府は希臘所屬の人民を放逐せんと考慮中なり(同上)

▲**運河通過料遞減** スエズ運河の通過料は來年度千九百十一年一月十一日より一噸に就き五十三チームに遞減すべし(同上)

雜録

日韓合邦と露國

日韓合邦問題に就き列國就中露國が如何の態度を執るべきかは外交上の一大問題なるが露國ビルゼワヤ、ウエドモスチが露國樞要の位置にある某より聞ける談なりとて同紙上に揭載する所左の如し

露國外交の指導者は朝鮮が公然日本帝國の一部分と宣言せられたる時の新狀態が今日日本の實際朝鮮を占領し居る時の狀態と毫も異なる所なかるべしと思惟す吾人にして若し朝鮮に經濟的利益を有したらんには合邦問題も吾人をして或は痛痒を感ぜしむることあるならん朝鮮に對する輸入は殆ど無視なるに日本の關稅は世人の知るが如く非常保護的なり然れども例へば朝鮮と通商の關係を有する米國の如き此問題に意を注ぐべきも吾人は如何なる點よりも此問題に意を注ぐべきものなし我國より朝鮮への輸入高は二萬留にして我が輸出は四百留のみ露國外交當局者は我國が合邦に默諾を與ふるに於ては日本と親交の步を進め極東に於て日露の行動の步調を一にするに至るの端と爲るべきを信じて合邦に對して抗議せざるべし目下米國の滿洲局外中立を提議し松花江問題に就て支那の傲然たる態度を執りたる後に於て斯る日露行動步調の一致は極東に於て吾人に取りて焦眉の急務たるなり云々

南滿鐵道の利益金

南滿洲鐵道會社四十二年度利益金は五百七十七萬千六百九十九圓(前半期百六十八萬五千八百六十六圓、後半期四百八萬五千八百三十三圓)にして其內譯は鐵道四百十九万七千八百六十五圓、石炭百二十二萬八千九百九十五圓、棧橋二十四萬七千四百三十九圓即ち前年に比し倍乃至二倍半の好成績也

●**無方針の徵稅方法**

地方に於ける財務主事が韓國の事情に慣れざる爲め徵稅方法區々にして時々紛擾を惹起することは今や掩ふ可からざる事實なりとす例せば全北、慶南の各財務署の如き或地方に於ては葉錢の引揚げに勉むる爲め納稅は葉錢にあらざれば受收せず之に反して或る地方に於ては領收員が運搬に不便なる爲め新貨にあらざれば受收せず隣接地に於ても徵稅管區を異にするときは斯の如き反對の現狀あり此故に目下開會中の監督局長會議に於て徵稅方法を主題として討議しつゝあるが聞く所に依れば度支部に於ては徵稅方法に關しては未だ定見なく此を以て今後は徵稅方法に關して廣く他官憲の注意を迎へ又は意見を求むることに決したり

●**臨濟寺の開堂會期**

京城初音町二丁目臨濟寺圓山太嶺禪師は汎く上下の機類を攝取布教する目的にて有志の贊助を得て小庵を新築せしが今般落成せしを以て來る十二日日曜日堂開きの會式を左の次第に依りて執行す

午後一時開堂式午後二時總供養施餓鬼、もちなげ、散會、午後八時より法話、但雨天順延

尙法名附込望の方は當日申込むべしと

●**キング博士歡迎會**

石塚長官は十四日午後零時半オベリン大學總長キング博士をソンタクホテルに招待し午餐會を開けり當日陪賓としてターナー僧正バンカー、アピソン、スクラントン、ジレツト、ホツカード、ジャーダインの各宣教師及小宮次官、頭本元貞氏、市原韓銀總裁、渡邊高等法院長、三浦理事官、池邊書記官等廿余名を招待したり

●**彗星耶蘇教に祟る**

慶北星州郡の長老派耶蘇教は傳道助手の妻等をして彗星地球の衝突近きにあり故に此際耶蘇教に信依して未來の快樂を待つべしと唱へしめ布教の手段に利用しつゝありしが當日を經過するも何等其事なきより孰れも其欺かれたるを憤ほり教會に押掛け詰問を試むるもの續出し信用全く地を拂へりと云ふ

●**石塚長官の招待會**

石塚英藏氏主催の頭本元貞氏招待會は九日午後七時より花月樓に於て開催されたり當日は京城各新聞通信社長及特派員も陪賓として出席したるが主人石塚氏は病氣の爲め缺席石井少將其代理として出席頭本氏歡迎の辭を述べ頭本氏の答辭あり散會なりき

●**警察協會の發會式**

各警察部長入京中を機とし十一日午後一時より廣通館に於て第十九回警察茶話會を開き同時に警察協會の發會式を擧行する筈なり而して折柄來京中の頭本元貞氏及國分高等法院檢事山根衛生局囑託の講話あり後餘興に某紳士の浪花節ある由

●**警察方面會議事項**

警察部長一二區聯合方面會議は引續き十日も開會せるが昨日諮問に付せられたる事項は左の如し

一、巡查功勞章授與規程
二、警察官制服改正の件
三、教育取締の現況
四、暴徒現況並に之に對する民心傾向
五、犯罪申告を促進する方法

其他數件にして十一日を以て終了の由

●**天道教の擴張失敗**

天道教本部は此頃吳永品なるものを平安道に派し同地分教長と稱さしめ同教擴張費に充つる爲めなりとて教徒票一枚一圓宛に賣附けんとしたるに何人も之に應ずるものなく却て之を脫して侍天教に入るもの既に百餘名に達し益々否運の傾向ありと云ふ

●**支那密漁船の捕獲**

龍岩浦沖合及び圓島附近に於ては內部所管の巡邏船及關稅局の巡航船と密漁船取締りの爲め巡航中なるが同地出張中なる警察官の報告に依れば此兩三日に淸國密漁船十一艘を捕獲したりと

●**芳川寬治氏歸東** 芳川瓦斯電氣會社營業部長は九日夜東上したるが用向は曾禰子病氣看護を兼ね家事上都合の爲にして歸韓期の如きは今の處豫測し難しと

●**松井局長の招宴** 松井局長は昨十日夜目下方面會議出席の各部長をアストルハウスに請し晩餐を饗したりと

●**管谷支店長東上** 管谷通運會社京城支店長は支店長會議出席の爲め九日夜東上の途に就く往復三十日の豫定

●**隈本書記官出張** 學部書記官の同氏は北韓及び間島地方に於ける韓人教育狀況視察の爲め十日出張したりと云ふ

●**春川郡の天然痘** 春川郡にては去月中十三名の天然痘患者あり中三名は死亡し三名は快復し尙は蔓延の兆あり

●**國分參與官微恙** 國分人事課長は九日以來微恙にて引籠り靜養中なりと

●**仁川民長の歸期** 岩崎仁川民長は一兩日中に出發し歸朝する筈なりと

●**新任郡主招宴** 內部は新任郡主事廿余名を十二日京城ホテルに招待す

●社告

統監更迭紀念號

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は玆に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

▲**紀念號發行日** 來る六月廿五日

▲**記事の內容** 韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲**頁數と發行部數** 約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

基督教主義大學

在韓米人基督教傳道會社派遣各派宣教師は當地に基督教主義大學設立の爲目下連合運動中なるが聞くところに因れば設立及維持資金は米國石油王ロックフヰラア氏の寄附に係るならんと云ふ

無線電線の設置

度支部にては今回我が海軍省と交渉の上仁川、港門島、木浦、小靑島、元山及び軍艦光濟號に無線電線を設置することに決定し其の豫算三萬餘圓は先日の官報に於て既に發表したるが小靑島の如きは西海岸の要路にして大連鎭南浦等への航行船は特に要衝たる燈台も設置しありて其の目的は氣象の觀測漁業者との連絡警察事項、難破船の報告燈台の通信等なるが豫算に餘剩あらば漁業の根據地なる所里島に設置する筈

移民列車の運轉

韓國鐵道管理局にては先般來移民列車運轉に付考案中なりしが各般の準備整ひしを以て愈々近々の中に運轉を開始すべしと云ふ因みに右移民列車は重に地方韓人の乘用に供するものにして賃率は現在の三等賃銀に二三割を減じたるものなりと云ふ

●**慶北の麥作大減收**

慶尙北道觀察使より其筋へ報告したる麥作の狀況を聞くに本年は播種以來天候稍々順を得生育佳良なりしが四月中旬より五月上旬に亘り降雨頻繁なりし爲め排水惡しき地に栽培せしもの及遲播きのものは靑銹病に罹り甚しきは收穫の見込なきものありしが其後本月四日まで降雨なかりし爲め病害は漸次減退したるも乾燥の爲め著しく被害されし地方あり結實惡しく概して作柄不良なり五月二十日付の現況に依り豫想報告を徵したるに前年に比し三萬三千百六十石の減收なりと云ふ

●**官吏不正免稅問題**

統監府及び其所屬官署官吏が小包郵便を利用して脫稅を圖ることに關しては曩きに京城商業會議所より免稅撤廢の請願を爲したることは其當時記載したるが統監府に於ては今日迄で未だ何等の處置をなさず然るに近來官吏の名義を利用して內地より物品を取寄せる者益々增加する傾向あり此故に會議所に於ては飽迄で素志を貫徹すべく勉むると同時に民間の有志者は新統監の嚴格なるを幸に此等不正官商の奸計を一掃すべく別に或る方法を講じつゝあり

●**元山港魚市場開設**

元山港に於ては從來韓人の經營する魚市場ありて韓人向の取引は行はれたるも日本人向の物はなかりしが今回日韓人共同して大規模の魚市場を設置することゝなり既に其認可を得たれば近日より開場することになるべく此の魚市場にして開設せらるゝときは同地の漁業に一大利益を與ふるに至るは明なり

●**瓦斯會社重役出發**

瓦斯會社に於ける馬山の電燈創設を初とし他擴張事項の爲めに重役高松白石兩博士の來韓となり商議の結果既定擴張の他更に七萬圓を增加し東西兩門間とも複線となす事に決したるが尙ほ同社に向ふて電燈布設を求むる地既に五六所に上り居れども同會社に於ては當分現狀を維續すへしと

●**今期日韓瓦斯配當**

日韓瓦斯電氣株式會社は七月末日を以て第四期決算を爲す筈なるが今日迄の成績によれば次第に順調に向ひ優に七步の配當難からざるも過日の重役會議により六步配當に內定せりと云ふ

●**韓書記官長の東上**

目下片瀨に療養中の前統監曾禰子の病氣見舞の爲め韓國內閣員を代表して內閣書記官長韓昌洙氏は來る十三日朝出發東上の豫定なり尙ほ同時に國分哲氏と同行の筈なり

●**水野參事官の行程**

內務省勅任參事官水野錬太郎氏は十八日新義州着夫より平壤開城を經て入京し仁川太田大邱釜山の各地の視察を遂げ歸朝の筈なりと

●**日韓瓦斯事業擴張**

瓦斯會社重役高橋、白石兩博士は九日夜歸東の途に就きたるが其序馬山に過り一應視察を遂げ直に歸國さるべし

●**會議所の名簿縱覽**

京城商業會議所に於ては十三日より十七日迄で每日午前九時より午後四時迄で選擧被選擧人名簿を縱覽せしむると

●**龍山議員の協議會**

九日午後一時龍山民團役所樓上に會合し京龍台併問題に關し協議を遂げたり

●**洛東江口產の海苔**

韓國に於ける海苔の著名なる主產地は慶尙、全羅兩道の境界線をなせる蟾津河口にして南北二十町東西一里半に亘り一ヶ年一萬六十圓以上の產額あるが洛東江及麿珍も將來有望なる海苔場として注目の價あり殊に洛東江口は其淡水量濃度の關係河底の土質等の分布等尤も適し居る由にて十分なる試驗を施したる上「ヒビ」の樹立等をなさば其產額は蓋し巨大なるものあるべしと云ふ

●**仁川病院個人經營**

仁川民團立病院は今回民會の議決を經て個人經營に委する事に確定せし由は既報の如くなるが愈々昨十日岩崎民長と長尾乙二氏及び京城漢城病院長安藤一郎氏との間に契約證を交換し調印を濟ましたりと云ふが其條件は民團の干涉を受けて經營するは勿論一箇年二千四百圓の補助金を民團より補給すと云

●**釜山驛落成式期日**

釜山驛の新築工事は漸次進捗して略ぼ竣工せるが其落成式は今尙未定にて七月下旬か或は八月に入らざれば擧式の運びとならざるべしと云ふ

公人私人

△大庭米三郎(仁川區裁判所判事)九日仁川へ
△佐藤正太郎(晉州種苗所長)同馬山へ
△高松豐吉(工學博士)同上釜山へ
△白石直治(工學博士)同上釜山へ
△岡本正夫(京城地方裁判所長)九日入京不知火旅館へ

韓人と間島移住

韓人最初の移住は幾年前なりしや何等記錄の存するものなく之を詳にする能はずと雖も凡そ五十年を出ることなかるべし而して其多數移住者を見るに至りしは四十年前なり即ち明治二年より三年に亘りて北韓に大凶歉あり六鎭の民爭ふて間島に移住し其數既に數千に達し獨り豆滿江岸に移住したるのみならず其少數者は兀良哈嶺を越へ三岔の平野に移住し其後漸次移住者の數を增加するに至れり彼等の先住者は淸人の未だ來住せざる以前なりし故に到る處適宜の良地に就き荊棘を拂ひ樹林を燒きて自由に開拓し貪慾飽くを知らざる韓吏の羈絆を脫し武陵桃源の境を夢みしが幾何もなく淸人の來住して跋扈するに至り辮髮して彼の風俗を奉するものは歸化人と見做されて土地を配與せられしが依然として結髮白衣の慣習を墨守するものは豆滿江外に驅逐せられ相率ゐて故國に歸還するものあり其殘留者は多年力耕の土地を奪はれ多くは淸人の小作農と化し誅求に甘んじて居住し且つ逐年移住者を增す所以のものは間島の土地豐饒なるに基因す韓人移住者の鄉里は稀に元山附近の者を見れども主として咸鏡北道殊に端以北の吉州明川鏡城富寧及豆滿江沿岸の所謂六鎭の民なるが如し其移住者に就て聞けば異口同音に鄉里に於ては耕地に乏しく而も地味瘠薄にして居住に堪へず間島の土地廣く地味豐饒而も地價廉なるを聞き親戚故舊相誘引し一家を舉げて移住し來るなりと云ふ而して移住の季節は融雪後春光以前にあり彼等は同鄉の先住者を便り或は移住地を豫定して來るあれど其の多くは何等の成算なく漫然移住し來るものゝ如し

經濟協會例會

韓國經濟協會は目下御來遊中の

本元貞及び永見十八銀行頭取兩君の歡迎を兼ね本會例會を十一日午後六時半より京城ホテルに於て開催致候、會員外と雖も前二氏に御緣故の御方は御出席差支無之候、會費金貳圓五十錢當日御持參の事

▲**治外法權**▼

別項所載の如く在韓米人基督教宣教師は韓人に政治、經濟、法律、理科、醫科等の高等教育を授くる爲に基督教主義の大學を當地に起すソウだ、而して其設立及維持費金はロックフヱラアが百万弗を出すのだソウだ▲今や羅馬法王は天主教大學を東京に建てんとして居る、亦英國の有志者は淸國に一大學を起し淸人開發に勉めんとして居る、大學亦大學極東の開發には至極結構の事だ、併し淸國は兎に角東京と京城に外人の手で大學を建てられるのは日本の名譽ぢやない▲每度云ふ事だが東京は兎に角當地に外人大學なぞをやられるのは實を云へば餘りに日本側が韓人教育に不熱心だからだ、南大門驛からパリー中央停車場迄十四日で行かれる今日韓人に高等教育は無用だなぞとチョンマゲ論をやるのは世界の大勢に逆ふのだ、ドウカ外人のする事許り指を咬へて見て居ずコッチも一トツ相當の事をするヨウにしたい▲日韓合邦私案とやらは新聞紙に揭載相成らずと三浦理事官から嚴達があつた、スルト間もなく其嚴禁した日韓合邦私案の揭載された福岡日日新聞が届いた、手に取つて見ると之は亦私案の御粗末さ加減は驚く許りだ、茲に至つて理事官が揭載を禁じたのも無理がないとうなづかれた▲鐵道管理局が四等車とでも云ふべき移民列車の運轉を開始するのは極めて結構だ、之れで地方韓人は旅行の便利を得、同時に局は收入を增すことになるのだ。

京城の裏面（一）

濡手で粟慾脫裏（四）

津城が山崎と結托し秘密に計畫を遂行しある事が川合等の耳に入りたる時は既に山崎にても人夫の募集も略ぼ完了したる頃なりき而して此秘密が如何にして如何なる動機に因りて川合方の耳に入りたるかと云ふに讀者は山崎方に關係せる多田霖四郎なる者が楠本と親交ありと云へるを記憶すべし彼れは五月中旬或る事より山崎と衝突したる爲め楠本方に五日程寄食したることあり津城山崎兩人の秘密計畫は叩ち彼れの口を通して川合等の耳に入りたるのみに止まらず更に山崎の一大秘密は遂に曝露せられたり此實に川合等に取りて晴天の霹靂なり曰く既に山崎は人夫募集完結したるを以て渡韓の出發準備として安東病院より診斷書を貰ひ受け夫れを添付して役所に對し三周間の休暇を要請し許されば出發期も必ず遠からざるべしと猶ほ同人は暗に次官吏たる身を以て斯る事業を計畫するは不都合なるに假病を構へ三周間の休暇を要請するが如きは祿盜人の如き社會の爲め大に彈劾する必要ありと況んや他人の共同者を誘惑し其の事業を横取りせしものなるに於てをやと自ら筆を執りて原稿二通を作成（現在一通は裁判所に一通は川合の手にあり）したり之れを見たる川合等は憤慨を散ずる好手段なりとして某々二新聞に投書せんとせしも故ありて果さざりしに二十一日午後に至り山崎が勤務せる某縫給社の口より津城山崎の兩人は廿二日の一番列車にて京釜線へ向け出發すべしと告げ來れり此所に至り以上默つて自分を任されて堪まるものかと憤怒の極前に述べたる如く川合楠本等の山崎宅を訪問せんとし立出でたる時恰も一方北島も又此の事を耳に

拔かれては一大事と津城を山崎宅に訪問せんと來りしに出會したるより廿二日の午前一時深更同家の門を打ち叩きたるも容易に開かざるより開けずば打ち壞して踏み込むぞと怒鳴りし刹那便所に近き雨戸を押し開き躍り出でたる人あり闇を透して見居たる多田は要心しろピストルを持つて居るぞと叫びしに一同流石にギヨツとし一歩二歩退きし間に彼の怪物は踵を返し一目散に逃げ失せたりと見る間もなく戸を開きて出で來りたるは主人山崎にて此の深更に何用ありてと空惚けたる應對振りに怒り心頭に燃ねたる北島川合の面々は津城を出せさて押し入りたるも同人の姿はなく曾つて川合が貸し與へたる洋服附屬品一切を脫ぎ棄てあるにぞ扨は先刻逃げ去りたるは津城に相違なし何故あつて彼れを逃したるか事情に依つては許し難しとて罰掃の事實を列擧し其の不德義を鳴らし激越怒罵を浴せ掛けたるも山崎は如何なる都合か默然として一語も發せざりき（續）

三面電報

首無犯人就縛

近時問題として東京全市を驚察界の一大問題となりし第二首無女事件は警視廳の全力を盡して檢擧に從事したる結果犯人は東京府下區東森下町六十四番地岡田幸吉方同居天賀須久米吉（三）逮捕され被害者は小林イチなる事判明したり（十日午前十一時五十分東京發電）

首無事件の號外

讃都 東京に於て起りしめたる首無事件に就ては各新聞社及有志者は多額の賞金を懸けて犯人捜索を奬勵したるが加害者及被害者判明したるを以て東京大阪各新聞は何れも號外を發行せり

元丸京員の横領

▽元呉服店 昨年十二月閉店したる本町四丁目元丸京呉服店支配人小花賢の番頭兼販賣支配人在職中四十一年九月より本年三月中旬に至る迄に於て賣掛代金二千餘圓を横領費消し居たる事發覺し杉本鹿太郎より銅峴分署に告訴中なりしが取調べの上十日送局せられたりと云ふ

四人掛の金壹圓

▽北部管内強盜嫌疑者住所不明韓人金德渠、趙龍著、柳桐著、趙丙大の四名共謀し八日南部面朴里居住李雲先なる者を東大門東廟前に誘ひ出し所持金一圓を強奪し猶ほ九日迄に所有金全部を提供すべしと脅迫中銅峴分署刑事の手に取押へられたり



女振り

古城民長夫人 古城かなる子

民長古城菅堂君は金貸業をも兼營して御座る、夫人の名は以前はさんと仰云つた筈であるのにかなるさんと仰云るのだと敎へて呉れた人がある、其樣な譯はないと躍起になつて食つて蒐つて見たが、夫れは君が知らんのだ、民長殿の夫人にれさんと云ふ妙な不釣合な名があるかと尤もらしい事を云ふ、併し古城さん生れてからの民長ぢやないぢやないか……ハア此度取り換へられたのですねと云つたら五月蠅と叱られた、甚だ不安心な油斷も隙もならないれ名である、古城君は安政四年の出生、夫人は慶應二年大分縣東國東郡熊毛村に生れた、氣性は至極れ優しい、格別學歷とてはないが裁縫はれ得意である、古城君は中再君に次いで當地での資産家であるが夫婦の間に子と云ふものがないので御親戚のれ子さんを貰ふて養嗣子とせられて居る、夫れから姪御のれみねさんを引き寄せて御座る、れみねさんは十九歲でシツトリとした好いた娘子だ、夫人の此の二人者を愛せらるゝ事は非常である、古城君は何事をするにも一應夫人の意見を徵する相だ、然れば大は藝妓仲居の祝金引き上げより小はれもんどの手切金の額まで知つては御座るが差し出ケ間しき事はない、が茲に一つ夫人が夢にも知らん大事件が山と川との間にあるのだ、夫れは……惡いから止さう。

青年への好き殷鑑

小池德史（二）

▽梅毒に感染して自殺を圖る 仁川に於ては數日前河豚の臟腑を喰ひて自殺を遂げし韓婦人ありしが亦しても將來大に爲すある一靑年が阿片を服用して自殺を圖りし事實あり其仔細を報せんに原籍和歌山市新通り一丁目無職小池德史（二）と云ふは數年前志しを立てゝ渡韓し京城本町二丁目洋服商村松清二郎方に奉公して君寶に勸めつゝありしが途ひには惡友に誘はれて安物買ひに憂身を窶すに至りたる揭句の果は惡性の黴毒に感染し起居振舞さへ自由ならざる樣になりしかば右洋服店よりは解雇され身の振り方に困じて去る八日仁川に下り京町なる韓人旅館開豐館に投宿せしが行末を惡ひ越方を悔ゆるに伴れて此浮世に厭氣を催ふしたるものか一昨日阿片を服用して自殺を企て一時人事不省に陷入りたるが其筋より警官醫師出張應急の手當を加へし結果危くも一命だけは取止むるを得昨日民團役所の手に行旅病者として收容したり

女郎と小間物屋

▽さ而して女郎の繼父 去る八日廢業したる消月樓のれ職女郎薰と云ふは角兵衞獅子の本場越後生れにて本名を澤崎けん（三三）と呼ぶ者なるが男ならば當然角兵衞か米搗か蕎麥屋の出前持ちとなるべき所女と生れたるより花魁へーと呼るゝ事になりし仕合者にて爾來洞入り洞返り又は搗臼の秘術を盡して娼法に勉強せるより千客万來の大繁昌されば朋輩女郎の誰彼より彼の人斗は感心よ何日でも三錢や五錢持てないことはないと羨まれ居しが夫れは內所を知らぬ闘目にて新町二丁目のさぬき屋と云ふ小間物雜貨店に昨年六月頃より本年五月に至る間に順繰りくへ押し延ばし衝き延ばしたる借金四十六圓餘に上りたる時も時薰は近日廢業すべしとの噂立ちしにさぬき屋の主人遠山は取り逃しては一大事と同人に對し事實の有無取り糺したるに其樣なことは有りません錢ての約束もあれば廢業する時には皆濟ます併し此の事は母にも賴んで置きましたと借金は濟さずまず先づ反身になつてツマ楊枝を嚙み碎きながら濟まし返つて居る樣子の滿更噓とも思へぬに遠山も安心はして居たる所へ更に大和町二丁目の谷川某の妻なる薰の實母が遠山方に來り半額にして呉れられねば月賦にしてと申込みたるも現在谷川が新町在住中貸掛金五圓餘さへ今以つて仕拂はぬ始末なれば承諾せざりしが其の際同人も早急廢業する樣のことなしとて歸りたるにぞスツカリ安心して居る耳へ薰は荷物等取り片付け既に廢業屆も差出したりとの事に遠山は大に驚き斯町派出所に支拂說諭方願出でたるに仲居のするが遠山方に來り取下げ呉れよ廢業する時には通知するとの事に一時取下げしに一方薰は親許身受けとして同樓との精算も濟みて谷川宅に引き揚げしにぞ遠山は吃驚敗亡取り敢へず同人を訪問れ其の不都合を詰りしに金は裁判所で拂ふと怒鳴り付けたるより遠山は憤慨し目に物見せんと敦圍き居れりと

●年少韓人の窃盜

京城南部草洞五統九戶金泰植（一二）が六月九日午後二時頃竹園町二丁目を大風呂敷を肩に擔ひ行く擧動怪しきを鍾洞分遣所憲兵が認め取調べたるに風呂敷は不正品にあらざるが彼が現に着用の君衣一枚本年五月下旬大和町二丁目川添爲造方の物置場にありたるを窃取したる旨自白せしに因り贓物は被害者に還付し本人は將來を戒諭し放還せりと

店員評判記（十二）

釘本藤次郎商店員 邊雲祥君

雲祥君は度々名新聞紙に依りて紹介せられ殆んど書き盡されたる名物男である、即ち本年三十五で明治三十一年十一月入店したことから、四十年賞與として一千圓支給せられたてと迄悉く顯著なる事實で、我が評判子筆の着け方がない、質性堅實慧悟機敏なんて有り凝る樣な字は列べる必要がない、云はでも事實が證據立てゝ居る、賓弱も極に達すると一方に血路のあるものだ、同君が藤次郎君に雇入れられたのは孃さん（か）の子守りとしてゞあつた、シツコも掛けられたらウンチも詰めたらう時には餘り泣かれてツッどれ尻を捻つた事もあらう、併し夫れを勤めて居る間段々登庸せられて今日の雲祥君を成したのだ、機微測り知るべからざる韓人中稀に見るの忠實漢。

●仁川署の賭博狩

仁川花房町二丁目福島キク方裏座敷に於て一昨日の午後七時頃大分縣平民當時仁川万石町居住の小手川喜四郎（五四）同愛媛縣人當時松坂町居住の酒井熊吉（四八）大坂生れ當時花房町齋藤謙二（三〇）岡山生れ福島キク（三〇）の四名が車座となりて賭博の眞最中なるを其筋の探知する處となり警官出張一網打盡本署に引致して目下取調中なるが仁川に於ても近來漸くこれが賭博熱の流行せんとする模樣あれば續々檢擧勵行する方針なりと

●二人組詐欺賭博

長崎人高森字一郎廣島縣人辻川正夫は何れも西部獨立門通りに居住し盛んに詐欺賭博を働くとの風評あるより西部署に於ては刑事をして嚴探中の處彼等は韓人傳任豐を手先きに使ひ九日麻浦街道に於て現行中を認められ引致目下嚴重取調中

●狂犬韓女を咬傷

南部社十里館井洞白樂新の妻金姓女（五三）は左足を太平坊與洞二十五統七戶李圭鉉方の飼犬に咬傷せられたるが右は狂犬に付銅峴分署に撲殺し被害者は大韓病院へ

●南山本願寺土曜會

南山本願寺に於て十一日八時二十分より例の通り說敎あり

東京相撲渡韓決定

▽本月下旬當地興行 東京大相撲は目下興行中の本場所打ち揚げ後直ちに渡韓することに決定し取締友綱は既に番附及び依賴狀等を各贔負先きへ送附し來れり、渡韓力士の顏觸れは去る一日本紙の掲載せし通りにして梅、常陸の兩橫綱、駒國見の兩大關關脇以下は片方宛にて即はら伊勢濱に小常陸小結は玉椿、碇潟大蛇潟、土州山、兩國等何れも花形力士を網羅したり立行司は木村庄之助同庄三郎役員側にては雷、友綱の兩取締檢査役阿武松、待乳山（元大砲）關の戶（元逆鉾）花籠（元荒岩）等なり尙ほ同一行中に元氣東西隨一と呼ばれたる太刀山の加はり居らざるは頗る遺憾とする處なるが同力士も頻りに渡韓巡業を希望し再三協會に向つて談判を試みたるも本年は同力士の出生地越中に於て大關昇進披露相撲を興行すると云ふ事とて渡韓を思ひ止まらしめたりと

●頭本氏と婦人會

南山町京城婦人會にては元ツウルプレス社長頭本元貞氏の來遊を機とし十一日午後二時より同事務所に於て常集會を開き同氏を招待して一場の講話を乞ふ由にて尙會員外の人と雖も參聽隨意なりと云ふ

●洋水彩畫展覽會

十一日午後二時より六時迄十二日は午前九時より午後五時迄龍山鐵道俱樂部に於て諸來遊中なりし山下梅涯畫伯の手になれる逸品二百餘種を陳列し展覽會を開催すべしと云ふ因に同日は同畫伯の席上揮毫もありと云へば一日の清興を恣にすることを得べきなり

●ミユンヘンビール

今回大日本麥酒株式會社より最新釀造發售したる同ビールは非常に滋養分に富み婦人方の飲用にも適し瓶詰にせる液体のパンとまで稱へられ好評嘖々たるものにて其の釀造方はビールの本場獨逸ミユンヘンの夫れに做ひたる者也と

目と耳

▲壽座● 十一日は「忠臣藏」にして場數も多きことなれば午後一時より開演 桃井若狹之助、寺岡平右衞門（瓶若）御臺顏世、とーれかゐ（正三郎）直義公、大星力彌、千崎彌五郎（內匠之助）藥師寺、斧九郎兵衞（三之助）鹽谷判官、母れかや（瓶太郎）斧九太夫、加古川本藏（九十郎）早野勘平、石堂右馬之丞（竹三郎）高野師直、大星由良之助（大倉）

▲仁川歌舞伎座● 初日以來大入續きなる同座三日目若燕の讀み物は義士三村の新割より討入迄二百三高地乃木將軍の二席なり

今日の運勢

六月十一日 舊五月四日 八白●友引 丁未除△一白●窮厄の日諸事手控への事盜失橫領遺失防ぐべし△二黑●不得要領に了らんとす取引貸借運盟共同組合の事は忌む新事及旅行利無し△三碧●滅裂を意味す運盟協合婚姻に忌む盜失紛失の恐れあり△四綠●離間破綻の恐れあり新事見合せの事調査檢分探險視察に吉△五黃●平凡の日保證受印及示談中裁の類を避くべし△六白●通利の日大抵吉特に改革整理歸省旅行に適す△七赤●相談依託請願に吉酒色賭事を禁ず△八白●家庭上の係累及保證引受の類を避くべし旅行新事見合せの事△九紫●成効の日大抵吉虛誇潤色を戒しむ（三▢館判斷）

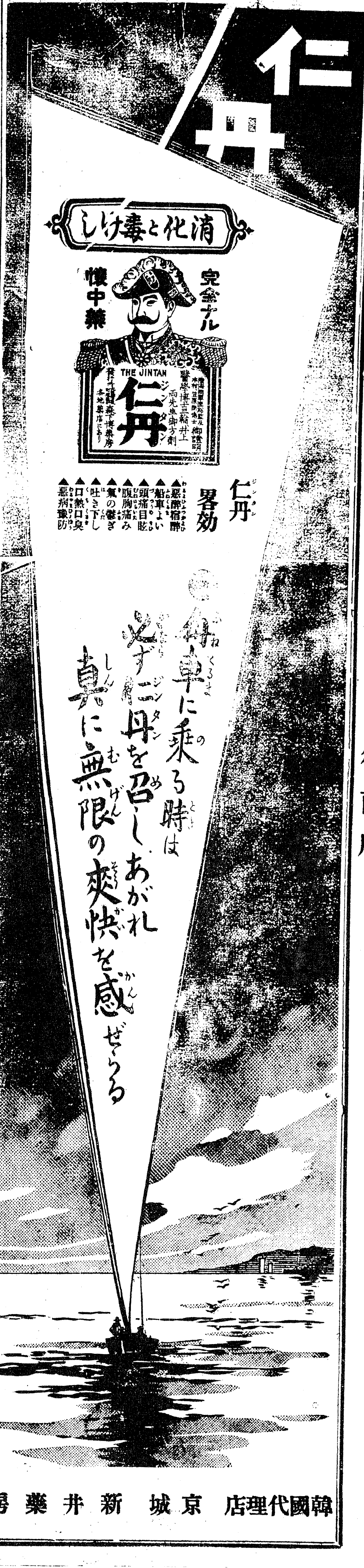
●天氣豫報（自十日午後六時 至十一日午後六時）

西の風晴

九日（華氏）最高溫度 八一、七 最低溫度 五六、七

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店



●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持参可仕候●

概略營業品目

和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品
巻紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ靴
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類

正札 一 引なし

官衙、陸軍
銀行、會社 御用達

京城本町四丁目

池田長兵衞

電話二百〇六番

和洋
雜貨 卸小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●



六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京



足袋

本店東京
京城大和町一丁目
（日の出橋際）

大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

緊急廣告

◉景品附賣出期間本月十一日迄
◉景品は各商店に陳列す
餘日切迫に付此好機を逸せられず陸續御購求希上候

韓國京城本町五丁目

和洋
金物商

藤本釘 藤本次郎本店

長途話四五番電信署號「ク」
振替貯金口座韓國二五六番

資本金壹百萬圓

大阪火災海上運送保險株式會社

（本社大阪東區備後町）

京城代理店

官製煙草元賣捌店

京城本町四丁目

三共商會

電話四一三番

保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

發賣販賣

東京ランバーゲ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店

藤田合名會社

東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
山口縣防長合資會社食鹽特約

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京橋南鍋町一丁目十番地 東京電話新橋三六九二

明治廿年七月創立

東京火災運送海上保險株式會社

資本金一千萬圓

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

京城代辨店 本町四 山口吳服店電話九番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

增築御披露

京城南大門通三丁目光宣門側（電話一三八二番）

御待合 紅葉

四方粋客様方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致し何時にても用意罷在申候間不相變御枉駕の程奉希上候

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農產種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料

京城東大門外蘿島
興國農園種苗養成所

諸官衙御用達

京城本町一丁目六十五番戸
三輪商會
電話三八六番

特約販賣自製

大 山 東（商標）

味噌醬油製造元
漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

支那白菜漬
朝鮮菜葉漬 大賣出し

（電話二五一番）

京城櫻井町五十七番ノ一（電話一二五五番）

奥山洋服店

高等旅館

平壤大和町

浪花館

電話一三四番

夏物大賣出し

六月中

晒木綿 一反に付、四十五錢
モスむじ大巾一尺に付 十五錢
特等柄モス友仙大巾一尺に付均一廿五錢
湯上りゆかた地一反に付六十錢
東京ゆかた地 同 九十五錢
ちゞみ縞 同 三圓卅五錢
コンバル式帯皮 一本 三圓
其他種々新荷着取揃申居候
○見切品は平日賣値段の半額
○御かし浴衣地ろろへ柄利口品澤山取揃へ申居候
（見切品つり切は割引なし）

京城本町五丁目

ともゑ呉服店

電話千四百五十番

これより一割引